

平成26年度東北ブロック研修会報告

【テーマ】「地域における保健師の保健活動に関する活動指針」をふまえ、震災後の活動をととした保健師活動のあり方を考える

【日 時】平成26年8月30日（土） 13:00～16:30

【場 所】秋田県総合保健センター

【参加者】58人

【内 容】

(1) 調査研究報告

「ソーシャルキャピタルの醸成や活用にかかる保健活動のあり方に関する研究」
調査研究班（自治医科大学看護学部教授） 半澤節子 氏

(2) 講演

「地域保健をめぐる国の動きと保健師に期待すること」
厚生労働省健康局がん対策・健康増進課保健指導室長 島田陽子 氏

(3) グループワーク

震災後の活動についての情報交換と今後の保健活動のあり方についての意見交換

調査研究報告では、「ソーシャルキャピタルの醸成」について、推進のための要件や展開方法等の理解が深まりました。

講演では、医療・介護総合確保推進法や健康づくり推進本部、保健師の人材育成をめぐる動向等幅広い話題を紹介していただきました。また、震災復興に係る継続的な国の支援についての力強いメッセージをいただきました。

グループワークでは、震災に係る具体的な現場活動の様子や、抱えている課題の共有など参加者の交流が活発に行われ、有意義な意見交換ができました。

今後も被災地を応援していくため、また、若い世代に活動をつなげるためにも、震災関係の情報交換の場を継続して設ける必要があることを確認しました。

最後に、全国保健師長会青柳副会長から、平成26年度の活動方針や地域における保健師の保健活動等について詳しく説明があり、充実した研修会となりました。

<島田室長の講演>



<グループワークの様子>



(記：東北ブロック理事 飯塚禮子)